

学級活動 基本の「き」

(その1)

～ 学級活動（2）教育相談的手法の活用について ～

教育相談的手法を活用した学級活動
がよく行われていますが、実施する際の
注意点はありますか？



*教育相談的手法とは、

「意図的にあるグループ作業を行わせ、ここで感じたことなどを率直に話し合うことにより人間関係を形成するために大切なことを理解させる手法」や人間関係を形成するための基本的な知識や方法などについて、ロールプレイングやグループで練習をするような手法」等を指します。

特別活動では、「人間関係を築く」ことが目標に加わったこともあり、学級活動（2）「ウ
望ましい人間関係の形成」の指導において、教育相談的手法を取り入れた実践がよく見ら
れます。自他のよさに気付かせたり、人間関係形成の技能等を身に付けさせたりするこ
とをねらったものが多いようです。取り上げ方によって非常に効果があがるものです。

ただし、教育相談的手法は、学級活動の特質を踏まえて活用することが大切になります。
学級活動（2）において具体的に身に付けさせたい力・態度は、

- ① 自己の課題としてとらえようとする。
- ② 解決方法を、他と話し合いを通して探ろうとする。
- ③ 自分なりの解決方法を見つけることができる。（自己決定）
- ④ 強い意志をもって実行できる。

です。（本 HP でも紹介済みです。）

そうすると、教育相談的手法をそのまま丸ごと学級活動（2）の授業とすることは適切
とは言えません。そこには、自己決定する場面がないからです。

教育相談的手法を取り入れる際は、次の点に気を付けましょう。

- グループ作業、ロールプレイングや練習等の教育相談的手法の一部を取り入れる。
- 集団での話し合いを通して、自己目標を**自己決定**させる。
- 自己決定させたことを個々に**実行**させる。

教育相談的手法については、効果的なものとなるよう取り上げ方を工夫して、学級活動
で活用しましょう。